

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 3 月 16 日(2023.3.16)

【公開番号】特開 2021-162847(P2021-162847A)

【公開日】令和 3 年 10 月 11 日(2021.10.11)

【年通号数】公開・登録公報 2021-049

【出願番号】特願 2021-15178(P2021-15178)

【国際特許分類】

G 0 2 B 1/115(2015.01)

10

G 0 2 B 1/14(2015.01)

G 0 2 B 1/18(2015.01)

B 3 2 B 7/022(2019.01)

B 3 2 B 7/023(2019.01)

B 3 2 B 9/00(2006.01)

C 0 9 J 7/20(2018.01)

C 0 9 J 7/38(2018.01)

C 0 9 D 201/00(2006.01)

【F I】

G 0 2 B 1/115

20

G 0 2 B 1/14

G 0 2 B 1/18

B 3 2 B 7/022

B 3 2 B 7/023

B 3 2 B 9/00 A

C 0 9 J 7/20

C 0 9 J 7/38

C 0 9 D 201/00

【手続補正書】

30

【提出日】令和 5 年 3 月 8 日(2023.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 面と該第 1 面に対して裏側の面である第 2 面とを有する第 1 透明基材と、  
前記第 1 面上に順に設けられたハードコート層、無機多層膜層、防汚層を少なくとも含  
む反射防止層と、  
前記第 2 面上に設けられた粘着層と、を備え、  
前記無機多層膜層はそれぞれスパッタリング膜である低屈折率材料層と高屈折材料層の積  
層体であり、

前記粘着層は、二層の粘着剤層と、前記二層の粘着剤層に挟持され、前記二層の粘着剤  
層のそれぞれに直接接着する P E T フィルムからなる第 2 透明基材とからなり、

標準光源 D 6 5 による波長 3 8 0 n m ~ 7 8 0 n m の光を入射角 5 ° で入射させた際の  
反射率 Y が 0 . 8 % 以下であり、かつ、

直径 8 m m の円錐状プローブを、突き刺し試験速度 5 0 0 m m / m i n で押し付けた場  
合の破断力が 5 . 7 N 以上であり、

50

前記第 1 透明基材の厚みが  $80\ \mu\text{m}$  以下であり、

前記第 2 透明基材の厚みが  $12\ \mu\text{m}$  未満である、反射防止フィルム積層体。

【請求項 2】

第 1 面と該第 1 面に対して裏側の面である第 2 面とを有する第 1 透明基材と、

前記第 1 面上に順に設けられたハードコート層、無機多層膜層、防汚層を少なくとも含む反射防止層と、

前記第 2 面上に設けられた粘着層と、を備え、

前記無機多層膜層はそれぞれスパッタリング膜である低屈折率材料層と高屈折材料層の積層体であり、

前記粘着層は、二層の粘着剤層と、前記二層の粘着剤層に挟持され、前記二層の粘着剤層のそれぞれに直接接着する TAC フィルムからなる第 2 透明基材とからなり、

標準光源 D65 による波長  $380\text{nm} \sim 780\text{nm}$  の光を入射角  $5^\circ$  で入射させた際の反射率  $Y$  が  $0.8\%$  以下であり、

直径  $8\text{mm}$  の円錐状プローブを、突き刺し試験速度  $500\text{mm/min}$  で押し付けた場合の破断力が  $5.7\text{N}$  以上であり、

前記第 1 透明基材の厚みが  $80\ \mu\text{m}$  以下である、反射防止フィルム積層体。

【請求項 3】

前記粘着剤層を構成する粘着剤の  $25^\circ\text{C}$  における貯蔵弾性率は  $0.20 \sim 0.10\text{MPa}$ 、かつ、損失正接が  $0.40 \sim 0.20$  である、請求項 1 又は 2 に記載の反射防止フィルム積層体。

【請求項 4】

厚みが  $170\ \mu\text{m}$  以下である、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の反射防止フィルム積層体。

【請求項 5】

前記防汚層の第 1 透明基材とは反対側の面にさらに保護フィルムを備え、かつ、前記二層の粘着剤層のうち第 1 透明基材から離れた側の粘着剤層の第 2 透明基材とは反対側の面にさらに離型フィルムを備える、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の反射防止フィルム積層体。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の反射防止フィルム積層体を備えた物品。

10

20

30

40

50